

2020年2月5日  
株式会社イー・ラーニング研究所

## 子どもがいる親世代に聞いた「STEAM 教育に関する意識調査アンケート」 約 9 割の親が STEAM 教育は将来に必要であると思っている！ 関心を集めている分野 第 1 位は「芸術分野」

e-ラーニングに関するサービスの様々なコンテンツを提供する株式会社イー・ラーニング研究所(代表取締役:吉田智雄、本社:大阪府吹田市 以下、イー・ラーニング研究所)は、2020年から始まる小学校教育改革に伴い、STEAM教育に対する意識を調査するため、子どもを持つ親を対象に「STEAM教育に関する意識調査アンケート」を実施いたしましたので発表いたします。

イー・ラーニング研究所は、インターネットを利用した家庭向け e-ラーニングサービス『フォルスクラブ』、小中学生向け動画教育配信サービス『スクール TV』などのデジタルサービスに加え、世界で活躍できる力を身につける、小学生向け次世代型社会体験スクール『子ども未来キャリア』などオフライン教材を展開しています。

今回、イー・ラーニング研究所では 20 代～50 代の子どもがいる親を対象に「STEAM 教育に関する意識調査アンケート」を実施いたしました。その結果、STEAM 教育のどの分野に関心を寄せているのか等の実態が見える調査結果となりました。

### 【「STEAM教育に関する意識調査アンケート」調査概要】

調査方法 : 紙回答

調査地域 : 全国

調査期間 : 2019年12月3日(火)～2020年1月9日(木)

調査対象 : 20代～50代の子どもがいる親 男女 計179人

※本リリースに関する内容をご掲載の際は、必ず「イー・ラーニング研究所調べ」と明記してください

### 調査結果概要

#### ① 約半数が STEAM 教育を既に知っている！

⇒STEAM 教育を知っていると答えた人は全体の 45%となり、STEAM 教育は保護者間で既になじみのある言葉になってきていると伺える。

#### ② 芸術分野が STEAM 教育の中で最も関心を集めている！

⇒STEAM 教育を知っている人の中で、それぞれの分野への関心度を聞いたところ、芸術分野に関心を持っている人は 61%いた。芸術・美術を学ぶことで感性と教養を磨き、想像力と創造力をつけられる分野として改めて注目していると考えられる。

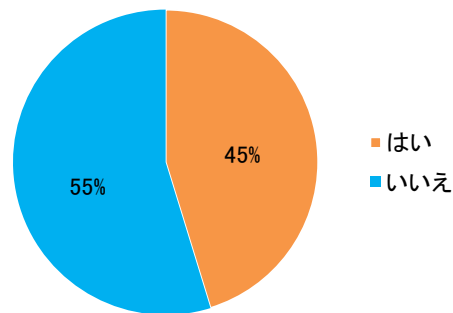
#### ③ 約 9 割が STEAM 教育は将来に必要であると思っている！

⇒STEAM 教育は将来に必要なか聞いたところ、「はい」と答えた人は約 9 割に上り、STEAM 教育の必要性を感じていることが明らかになった。システムが動く原理原則を理解できる能力やクリエイティブな思考を育めるよう、専門の知識や技術を学べる STEAM 教育が必要と考えていることが伺える。

## 1、約半数が STEAM 教育を既に知っている！

「STEAM 教育を知っていますか<SA>」という問では、「はい」が 45%、「いいえ」が 55%という結果になり、約半数が STEAM 教育を知っていることが分かりました。小学校の教育改革をきっかけにプログラミングや英語といった教育分野に関する様々な話題への注目度が上がっていることに伴い、STEAM 教育もなじみのある言葉のひとつとして浸透し始めていると考えられます。

Q:STEAM 教育を知っていますか<SA n=179>

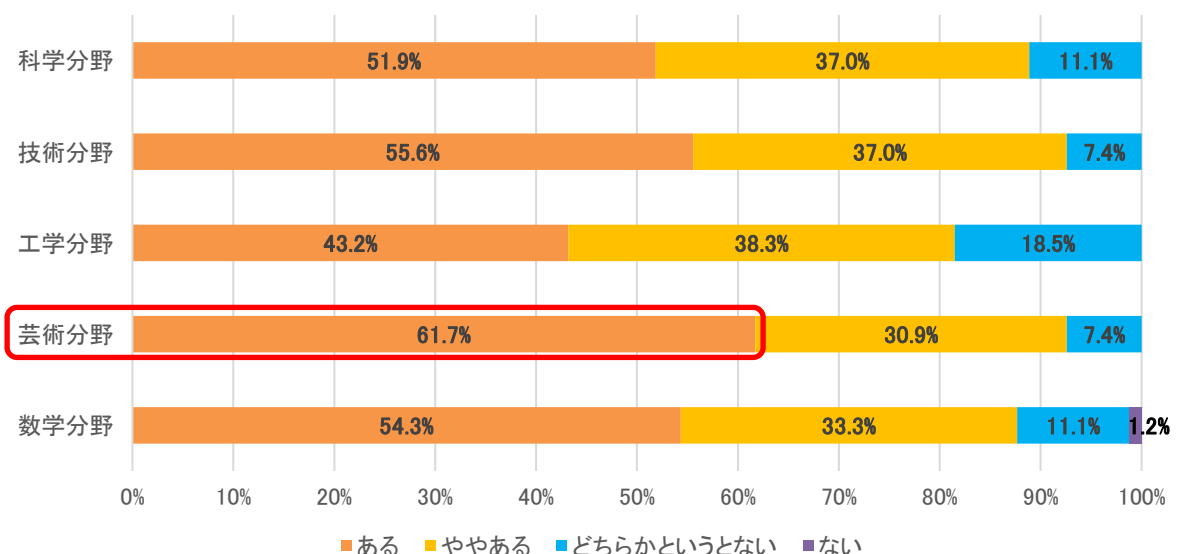


## 2、芸術分野が STEAM 教育の中で最も関心を集めている！

STEAM 教育の各分野において関心の有無を調査したところ、各分野ともに、80%以上の方が「ある」「ややある」と回答しており、満遍なく関心度が高いことが伺えます。また、各分野において「ある」と答えた人に注目すると科学分野は 51.9%、技術分野は 55.6%、工学分野は 43.2%、芸術分野は 61.7%、数学分野は 54.3%という割合になり、芸術分野が STEAM 教育の分野で最も関心を集めていることが明らかになりました。

デジタル化が進むにつれ、テクノロジーを駆使して新しい物を生み出すクリエイティブなスキルが求められていくため、芸術・美術分野が感性や教養を身に付け、想像力と創造力を育める教育として注目されていると推察されます。

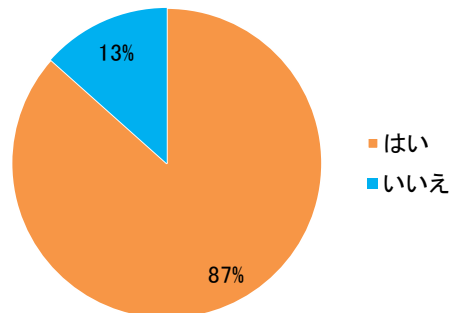
STEAM 教育の各分野への関心度<SA n=81>



### 3、約 9 割が STEAM 教育は将来に必要であると思っている！

「STEAM 教育は将来に必要であると思いますか<SA>」という問では「はい」が 87%、「いいえ」が 13%となり、約 9 割が STEAM 教育は将来に必要であると思っていることが明らかになりました。デジタル化が進んでいく時代に合わせ、子どもたちがシステムの動く原理原則を理解できる能力やクリエイティブな思考を育めるよう、専門の知識や技術を学べる STEAM 教育が必要と考えていることが伺えます。

Q:STEM 教育は将来に必要であると思いますか<SA n=179>



#### 【「子ども未来キャリア」概要】

「子ども未来キャリア」は、小学生から“夢”や“目標”を持ち、“社会で必要な力”を育む次世代型社会体験スクールです。夢・目標を持てるための「キャリアビジョン」と、夢・目標を叶えるための「ビジネススキル」両輪を育みます。「QMI メソッド」と呼ばれるアクティブ・ラーニング型の独自メソッドを用いて授業を実施します。使う学習ツールは子どもたちに具体的想起をうながす「スライド投影」と学習テーマを疑似体験できる完全オリジナル「テーブルゲーム(ボードゲーム・カードゲーム)」です。「QMI メソッド」では、子どもたちが自分のこととして学ぶことができるため、意欲的かつ、効率的に楽しみながら学ぶことができます。

- URL : <https://force-academy.jp/kodomo-mirai-career/>
- 教材対象年齢 : 小学 1 年生～小学 6 年生
- 販売対象 : 全国の子ども向けスクールや学習塾など教育関係の組織・企業
- 学習テーマ:



国際的に定義された「21 世紀型スキル」10 領域の解釈と日本の子どもに必要な社会的スキルの学習テーマで構成されています。現在定義されたテーマは 14 ですが、これらの要素は「時代・社会」や「子どもたちの環境」、「保護者が求める環境」に沿い、常に更新されていきます。

- A. お金の大切さと成り立ちを知ろう
- B. 夢を叶える“逆算思考”を学ぶ
- C. 家族・友達と仲良くいられる“コミュニケーション”を知ろう
- D. 友達と協力することの大切さを知る チームで活躍する“チームワーク”
- E. 自分の意見が言えるようになる 子ども“ディスカッション” など

## 【「スクール TV」概要】

「スクール TV」は、「学習習慣の定着」を目的とし、全国の主要科目の教科書内容を網羅した小中学生向けの動画教育サービスです。約 1,000 本の教科書に対応した授業動画を配信し、自ら能動的に学習する「アクティブ・ラーニング」のメソッドを日本で初めて動画内に導入しています。

また、学習習慣が身についた子どもが、もう1つ上の目標を目指すために開始された学習コンテンツとして、現在、教科書や教材出版社など他社のドリルも提供しています。

- URL : <https://school-tv.jp/>
- 利用料金 : 無料  
有償プラン(「成績向上目的の学習コンテンツ」を有償で提供)
  - ・スクール TV プラス: 月額 300 円
  - ・スクール TV ドリル: 200 円～ ※学習教材により異なる
- 対象 : 小学生(1年生～6年生)、中学生(1年生～3年生)
- 学習内容 : 小学校 1～2 年生: 算数  
小学校 3～6 年生: 算数・社会・理科  
中学校 1～3 年生: 数学・社会・理科・英語・国語

## ■ サービス特徴

1. 「授業動画が見放題」
  - ・小中学校の教科書に対応した授業動画が見放題
  - ・単元の中で「重要ポイント」に絞り込み、テレビを見るような感覚で楽しく学習できる
  - ・映像総数: 約 1,000 本
2. 「やる気を育てる講師陣」
  - ・有名大学の現役学生を講師として採用
  - ・お兄さん・お姉さんのような親しみやすさを演出
3. 「アクティブ・ラーニングメソッド採用」
  - ・文科省が推進する主体的・対話的で深い学び「アクティブ・ラーニング」の視点を導入
  - ・授業開始前の約 5 分間に「アクティブ・ラーニング動画」を採用し、子どもの興味を惹きつける
  - ・定期的に質問を投げかけるなど適度に自分で考える機会を与えることで、「能動的」な学習が可能

## 【株式会社イー・ラーニング研究所】

- 名称 : 株式会社イー・ラーニング研究所
- 本社 : 大阪府吹田市江坂町 1 丁目 23-38 F&Mビル 6F
- 東京支社: 東京都港区港南 1 丁目 8-40 A-PLACE 品川 1F
- 代表者 : 代表取締役 吉田 智雄
- URL : <https://e-ll.co.jp/>